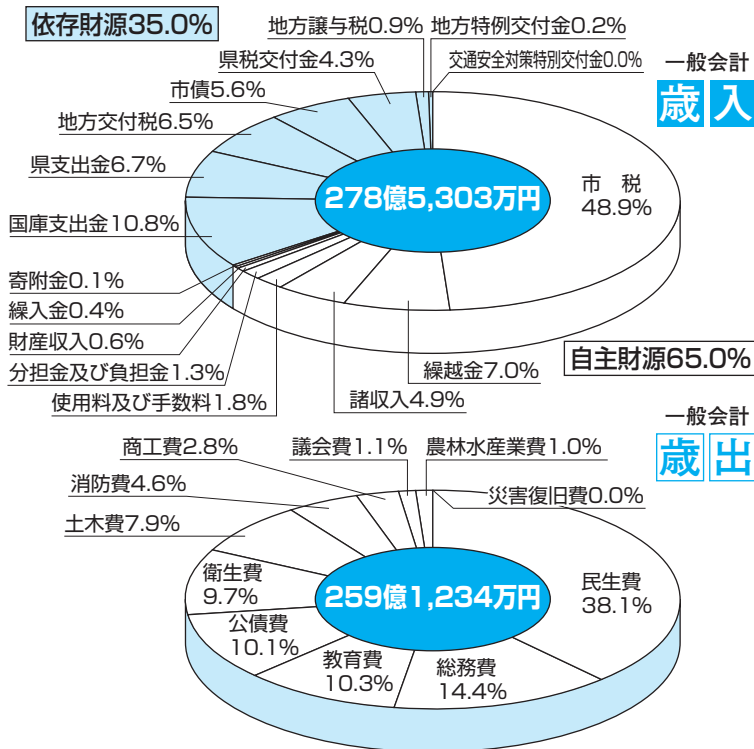


平成26年度一般会計決算 などを議決



9月市議会定例会は、9月3日から24日までの22日間の会期で開き、議案33件を審議しました。

平成26年度決算の認定など、その主な内容をお知らせします。



平成26年度 決算			
	歳入	歳出	
一般会計	278億5,303万円	259億1,234万円	
特別会計	199億2,880万円	191億1,558万円	
企業会計			
水道事業	収益的 18億9,857万円	16億8,821万円	
	資本的 1億8,000万円	10億6,290万円	
病院事業	収益的 69億1,905万円	89億372万円	
	資本的 4億5,110万円	8億4,975万円	
まちづくり事業	収益的 755億8,837万円	735億6,037万円	
	資本的 27億6,132万円	44億9,458万円	

※企業会計は、消費税を含んだ金額。

歳出前年度比 103・4%
一般会計の歳出は、前年度比103・4%で、歳入は同103・1%でした。

● 一般会計決算
委員会では、次のような質疑がありました。
● 一般会計決算
● 歳出
● 総務費
● 職員提案制度事業

決算審査 特別委員会から

特別会計決算(各会計別内訳)

	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	83億8,062万円	82億6,117万円	1億1,945万円
介護保険事業	54億5,879万円	53億1,267万円	1億4,612万円
後期高齢者医療事業	16億7,035万円	16億4,146万円	2,889万円
土地区画整理事業	18億5,244万円	17億1,599万円	1億3,645万円
公共用地対策事業	2億8,287万円	8,108万円	2億179万円
下水道事業	21億3,480万円	19億8,430万円	1億5,050万円
三谷町財産区	1億3,494万円	1億930万円	2,564万円
西浦町財産区	1,399万円	961万円	438万円

※決算認定…議会が一会計年度の歳入歳出予算の執行実績である決算について、内容を審査した上で確認し、認定することであり、議決事項の1つです。

平成26年度一般会計決算など12会計決算は、16人の委員からなる決算審査特別委員会(委員長牧野泰広、副委員長青山義明)を9月3日に設置し、14日から17日までの4日間にわたり審査しました。
委員会では、次のような質疑がありました。
● 一般会計決算
● 歳出
● 総務費
● 職員提案制度事業

問 職員提案された数と内容はどのようなものか。
答 提案数は平成25年度39件、平成26年度からは提案募集を年2回行い93件に増えた。そのうち、採用件数は平成25年度4件、平成26